

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。茨城県環境保全事業団では、引き続き、地元の皆様の安全安心に配慮しながら工事を進めてまいります。今号では、昨年より進めております仮設道路整備の進捗状況と処分場工事現場の法面の保護対策などの様子をお知らせいたします。



盛土材を運搬する仮設道路の整備



昨年10月から、発破作業や掘削作業などを実施して整備を進めてきた仮設道路が完成しました。

これにより、処分場の南側にある堆積場から、盛土材を効率よく運搬することが可能になり、盛土工事の施工性が向上しました。

仮設道路は、上り下りの勾配が大きく、通常の大型10tダンプでの通行が難しいため、アーティキュレートダンプと呼ばれる大型のトラックが通行します。

以下にアーティキュレートダンプと大型ダンプを比較しました。

アーティキュレートダンプ(左側)

- 車両サイズ
幅3.5m×高さ3.7m×長さ11m
- 積載量
36t(24.4m³)
- 特徴
・6輪駆動
・公道走行不可



10tダンプトラック(右側)

- 車両サイズ
幅2.5m×高さ3.3m×長さ7.6m
- 積載量
10t(5.7m³)
- 特徴
・4輪駆動
・公道走行可能

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

処分場法面のモルタル吹付試験を実施

12月25日、施工管理ワーキンググループの委員である茨城大学大学院の小林教授の立会のもと、モルタル吹付試験を実施し、本施工時に機械による吹付を行う際の留意点などのアドバイスをいただきました。



道路の清掃・凍結によるスリップ防止対策を実施

工事現場の出入り口や周辺道路におきまして、道路の清掃を実施するとともに、凍結防止剤の散布による車両のスリップ防止対策を行うことにより、交通安全に努めています。



道路の清掃

凍結防止剤の散布

処分場建設工事中の環境モニタリング

● 大気質(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未達でした。

● 騒音・振動(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未達でした。

● 水質(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未達でした。

● 地下水(11月測定)

工事の影響はほとんどないことを確認しました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

編集後記

皆さまは今年の目標を立てましたでしょうか。私は1つ、目標を立てました。令和7年は干支(十干と十二支の組み合わせ)で乙巳(きのと・み)にあたります。乙は『木が育ち成長する・努力』を、巳は蛇が脱皮し強く成長することから『再生・変化・成就』を表し、乙巳は『努力を積み重ね、物事を安定させる』といった年とされているそうです。

事業団職員一同、自己の目標を達成し、成長できる1年になるよう、日々、努力してまいります。〈本誌編集員〉